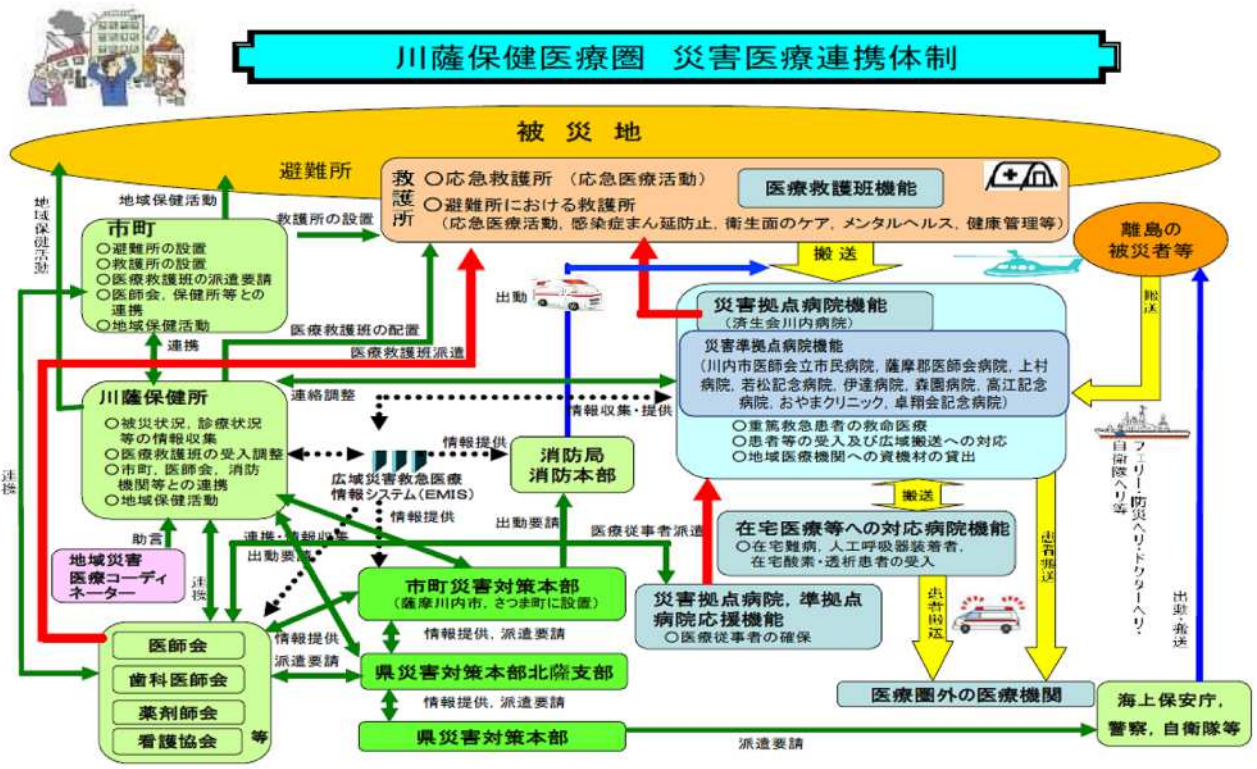


【図表資-5-96】川薩保健医療圏 災害医療の医療連携体制図



[北薩地域振興局作成]

【図表資-5-97】川薩保健医療圏 災害医療の医療連携に係る機能基準

	災害拠点病院機能	災害準拠点病院機能	災害拠点病院、準拠点病院への応援機能	在宅医療等への対応病院機能	医療救護班機能
医療機関名	済生会川内病院	川内市医師会立市民病院、薩摩郡医師会病院、上村病院、若松記念病院、伊達病院、森園病院、高江記念病院、おやまクリニック、卓翔会記念病院	被災地の医療機関	被災地の医療機関	被災地の医療機関
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>多発外傷等の重篤救急患者の救命医療</li> <li>患者等の受入及び広域搬送への対応</li> <li>DMAT、医療救護班の派遣</li> <li>地域医療機関への資機材の貸出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多発外傷等の重篤救急患者の救命医療</li> <li>患者等の受入及び広域搬送への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生後に災害拠点病院、準災害拠点病院へ医療従事者の派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時において在宅難病療養患者、人工呼吸器装着患者、在宅酸素療養者、透析患者の受入</li> <li>救命医療を行うために必要な医療従事者の確保ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生後、救護所・避難所への医療従事者の派遣</li> <li>救護所・避難所での被災者に対する感染症のまん延防止、衛生面のケア、メンタルヘルスケア等</li> </ul>
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害拠点病院</li> <li>救急医療を担う病院</li> <li>緊急搬ばく医療機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療を担う病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地の病院、診療所等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時において、在宅難病療養患者、人工呼吸器装着患者、在宅酸素療養者、透析患者の受け入れができる病院、診療所等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地の病院、診療所等</li> </ul>
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>重篤患者の救急医療を行うために必要な施設・設備・医療従事者の確保ができる</li> <li>DMATを保有し、その派遣体制があること</li> <li>多数の患者に対応可能な居室や簡易ベットがある</li> <li>診療に必要な施設が耐震構造である</li> <li>衛星電話の保有と衛星回線インターネットが利用できる環境の整備</li> <li>特殊な災害に対する施設・整備ができる</li> <li>被災時における生活必需基盤の維持体制ができる</li> <li>水・食料・医薬品・医療機材等の備蓄ができています</li> <li>広域災害医療情報システム(EMIS)の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重篤患者で救急医療を行うために必要な施設・設備・医療従事者の確保ができる</li> <li>多数の患者に対応可能な居室や簡易ベットがある</li> <li>診療に必要な施設が耐震構造である</li> <li>特殊な災害に対する施設・整備ができる</li> <li>被災時における生活必需基盤の維持体制ができる</li> <li>水・食料・医薬品・医療機材等の備蓄ができています</li> <li>広域災害医療情報システム(EMIS)の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救命医療を行うために必要な医療従事者の確保ができる</li> <li>広域災害医療情報システム(EMIS)の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時において、在宅難病療養患者、人工呼吸器装着患者、在宅酸素療養者、透析患者の受け入れができる</li> <li>広域災害医療情報システム(EMIS)の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救護所、避難所での応急医療</li> <li>感染症のまん延防止、衛生面のケアができる</li> <li>メンタルヘルスケアができる</li> <li>携行式の応急用医療資機材、応急医薬品</li> </ul>
連絡等	EMIS、電話(衛星携帯電話等)、ファクシミリ、災害時優先電話、非常・緊急扱い電話、孤立化防止用無線、防災行政無線、等	EMIS、ファクシミリ、災害時優先電話、非常・緊急扱い電話、孤立化防止用無線、防災行政無線、等	EMIS、ファクシミリ、災害時優先電話、非常・緊急扱い電話、孤立化防止用無線、防災行政無線、等	EMIS、ファクシミリ、災害時優先電話、非常・緊急扱い電話、孤立化防止用無線、防災行政無線、等	EMIS、ファクシミリ、災害時優先電話、非常・緊急扱い電話、孤立化防止用無線、防災行政無線、等

[北薩地域振興局作成]